

要 請

東京高等検察庁 御中

以下に署名した私たちは、ゴビンダ・プラサド・マイナリの妻と兄です。東京高等検察庁に対し、私たちのゴビンダを釈放するよう求め、本要請文をお送りします。

最近明らかになった DNA 新鑑定結果を見ていただければ、ゴビンダが罪を犯していないことは誰が見ても明らかです。犯罪容疑に対する彼の一貫した否認と、ゴビンダがそのような重大犯罪を行いうるはずがないという私たちの強い確信は、いまや真実であったことが分かり、彼の無実を証明しました。

犯罪に関与した具体的な証拠もなく、無実の者が無期懲役に処せられているのを目にするのは、本当に不幸なことです。

調べてさえいれば、当然に真実がもっと早く分かった筈の、真犯人の DNA 鑑定を待つだけのために、無実の者が、人生のもっとも素晴らしい時期の 14 年を費やさなければならなかったのは、尋常ならざる出来事です。私たちのゴビンダが、本来被る必要のなかった計り知れない苦役と苦痛を耐え忍ばなければならなかったのは、私たち家族にとっても大変つらく、見るに忍びないことです。

いまや、検察の裁量をもって、彼を遅滞なく釈放するべき時です。検察の積極的な一歩により、彼が最終的に自由の身になるのを妨げることなく、彼の苦しみを終わらせ、これほど長く求めていた正義を確実なものとする事が出来るのです。

インドラ・プラサド・マイナリ(兄)

ラディカ・デビ・マイナリ(妻)

ネパール カドマンズにて

2011年8月2日